



# 新年



伊達市長  
菊谷 秀吉

## 「伊達らしさ」を磨き 更なる行政サービスの充実を

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから市政の推進に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、伊達中学校サッカー部が公立中学校としてはかつてない躍進を遂げ、全国大会準優勝という快挙を勝ち取りました。

また、6年後の2020年に東京でのオリンピック開催が決まり、北海道でもサッカーの試合が予定されており、伊達市出身の選手が出場しているかもしれない未来を思うと胸が躍ります。

さて、本年は平成21年度から始まっており、第六次総合計画の折り返し地点となります。

総合計画の上半期では、ウエル

シーフード構想に基づく市観光物産館の整備や中学校の合併、総合体育館を始めとする各スポーツ施設の整備、小中学校の太陽光パネルの設置など、重点政策の4つのキーワード「食」「教育」「生きがい」「環境」の充実を図るべく、多くの施設をオープンするとともに、ソフト事業の推進も積極的に行うことができました。

各施設において市内外の皆さまに多くご利用をいただいているのは喜ばしい限りです。

また、本年4月に市民プールの開館と観光物産館の増築も予定しています。

消費税率引き上げによる影響などにより、地方財政状況の見通しは依然として不透明であり、予断を許さない状況ですが、伊達市の恵まれた気候と立地条件を生かして「伊達らしさ」を磨き、乗り越えようと考えています。

今後まちの将来を見据えた事業展開を目指し、本市の重点政策である「食」「教育」「生きがい」「環境」を中心に、充実した行政サービスの提供で、皆さまの期待にお応えできるよう職員一丸となって努力して参ります。

本年も市民の皆さまにとって、夢と希望に満ちた健やかな一年になりますようお願いいたします。新年のごあいさつといたします。



# 謹 賀

伊達市議会議長  
寺島 徹



## 「市民と協働する議会」を原点に

明けましておめでとござい  
ます。

市民の皆さまには、お気持ちを新たに平成26年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素から市議会の活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、日本一の名峰「富士山」の世界文化遺産登録や、2020年夏季オリンピック開催地として56年ぶりに東京が決定するなど国を挙げての喜ばしい出来事がありました。一方、我が国の社会経済情勢に目を転じますと、「アベノミクス」効果により徐々に回復傾向にあるとの報道がありますが、地方における景気・雇用環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような中、当市においては、

地域の持続的発展と活力あるまちづくりのため、将来を見据えた人口減少・少子高齢化への対応をはじめ、産業の振興、中心市街地の活性化、防災対策など、地域課題の解決に向けた取り組みが進められてきております。

市議会は、市民の皆さまの思いや地域の実情をきめ細かくとらえて行政に提言し、市政に反映させると同時に、市の施策をチェックし精査することが大切な使命であると認識しております。

伊達市議会では、より身近な議会、開かれた議会の実現を念頭に置き、議会の改革を進めており、昨年8月から、総務文教・産業民生の各常任委員会において、市内各種団体との意見交換会を随時開催してきているほか、議場内に「質問席」を新たに設置し、12月定例会から一般質問においては議員と市長などが対面する形で

質問・答弁することといたしました。

更に、昨年12月には、市議会だよりの編集・発行などを担っている広報特別委員会を常任委員会化し、「広報常任委員会」を設置したところであり、市議会の広報活動の充実とともに情報発信力を高めて参りたいと考えております。

私たち議員一同、伊達市民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、「市民と協働する議会」を原点に、今後とも更なる議会機能の充実強化に努力して参る所存でありますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。